

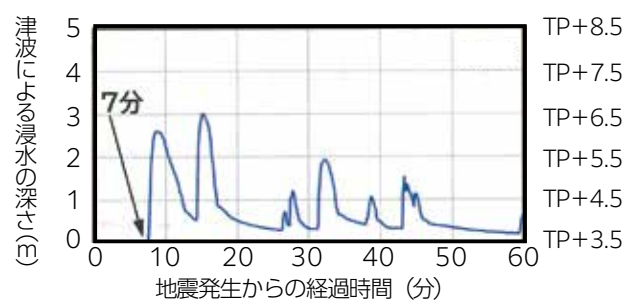
可能な限り早く、高く逃げろ

先月号では、南海トラフ地震が発生した場合の危険性、発生時に想定される揺れや臨時情報発表時の対応方法などをお伝えしました。内閣府によると、この南海トラフ地震が発生すると、紀宝町では、最大マグニチュード9・1、最大震度7、海岸沿いには最大11mの津波が到達すると想定されています。また、この地震による建物被害は、約1,500棟にもおよぶとされています。

今月号では、紀宝町に押し寄せてくる津波や今からできる防災対策について、詳しく紹介します。

▼詳しくは、総務課防災対策室（☎33―0335）まで。

◆津波時間軸グラフ（海岸付近）



◆津波の高さと死亡率



地

震発生から7分未満で、鵜殿港や井田海岸に津波が到達すると想定されています。

地震発生から揺れが3分間続いた場合、揺れが収まってから4分もたたないうちに、鵜殿港や井田海岸に津波が押し寄せてきます。その津波は内陸地に押し寄せ、町内の広い範囲に広がっていきます。

上記の津波時間軸グラフは、地震発生後に津波が到達し、津波による浸水の深さが時間とともにどのように変化するかを示しています。地震発生から7分後に海岸近くの住宅地に押し寄せた津波は、その数十秒後には、水位が急激に上昇することがわかります。

津波による浸水の深さ

が30cmを超えると、人は流されてしまいます。さらに、1mを超えると死亡率はほぼ100%とされています。

また、この津波は何度も押し寄せ、浸水の深さは変動を繰り返し、1時間が経過してもまだ浸水が続くとされています。

このグラフは一例であり、場所や条件によって津波の浸水の深さや浸水時間は異なる可能性があります。

津波は見えてから避難しても手遅れです。「可能な限り早く、高く逃げろ」を基本に普段から高台の避難場所やそこまでの避難経路、危険箇所の確認、非常持出袋の準備などを行っておきましょう。

また、自宅の耐震対策、家具の固定などを行うことでより早く、安全に逃げるのが可能です。今あなたにできることを考え、行動しましょう。

津波到達時間（三重県シミュレーション）

7分未満	12分未満
8分未満	13分未満
9分未満	14分未満
10分未満	15分未満
11分未満	15分以上

